

文教いしかわ

No.62

URL <http://www.bunkyo.or.jp/>

「ここまではよいのだ。ここまでは……」

石川県児童文化協会理事長 水野 宰

表題のセリフは、「桃花片」(作・岡野薫子)(東書版・小学校六年国語教科書)の中の主人公、陶工楊の悩みのつづきである。父の後継者であった楊は、老年になってやっと、単なる職人にすぎなかった父の作品が、ほんとうはすばらしかったことに気づくまで、このセリフをくりかえすのだった。名工と称賛されているのに、なお出来栄に飽き足らぬ思いを持つ楊の悩む姿をよく表していると、このセリフを授業展開のカギにする授業がよく見られた。

わたしの属する石川県児童文化協会(通称・ドウブン、会長・中島秀雄)では、今年、「石川の児童文化活動100周年記念事業」を企画している。明治43年(1910)、東京から久留島武彦が来県し、「お伽講演」を開き、それをきっかけに地元の有志が「金沢お伽倶楽部」を結成して、石川の地で児童文化活動を始めてから100年、今年、平成22年(2010)が記念する年にあたる。当時、巖谷小波とならんで著名だった児童文化活動家の久留島武彦は、児童文化活動を社会教育推進の一つの核にしようと、「わたしは、いつまでも子どもの膝の前の友でありたい」を座右の銘に、86歳で没するまで全国を口演行脚した。書く童話作家より、話す童話作家として知られ、「日本のアンデルセン」とも称された人である。金沢お伽倶楽部から100年、石川の児童文化推進に関わった先達たちは、地道に児童文化活動の火を灯し続けた。その後を引き継いだドウブンは、戦後すぐ結成され、今も、「いしかわ子ども交流センター(前・県立中央児童会館)」を拠点に活動を活発に展開している。その活動範囲は、今、児童文化講座の開設、童話作りと口演、児童向けの出版、子ど

もの俳句や詩づくりの推進、児童劇や人形劇の公演活動、音楽や科学部門の指導活動、各種児童文化団体との連携、会員の研修など多岐にわたる。

「石川の児童文化活動100周年記念事業」では、ドウブンの戦後の50年を含め、「金沢お伽倶楽部」からの100年の活動を記録する「石川の児童文化100年史」の編集発行、「100周年記念展」など、11月を目処に計画がいろいろ練られている。

計画を進めている中で、わたしたちは一つの課題にぶつかっている。100年の活動の跡は華々しい。しかし、これからの101年以降、誰が活動をどう推進して行くのか、活動推進の柱となる後継者が少ないことだ。戦後の活動の中心であった会員たちも、今では多くが高齢者となった。このままの陣容ではきっと行き詰まることは、会長以下、会員全員が自覚している。

100年という長い年月にわたって、ボランティアという立場を堅持しつつ、地道に活動を続けてきたドウブンの歴史の重さを考えるとき、先達たちは、後を継ぐ会員の育成も大切なドウブン活動ととらえていたことが今になって理解できる。いろいろ悩んだが、楊は父の立派な後継者であった。わたしたちは、楊のような名工にはなれなかったが、後継者として育てられてきたのだった。しかし、後を継ぐわたしたちは、その後の後継者づくりに力を十分入れてきただろうか。

100周年を迎えて、わたしたちには、今、後継者を多く育てるといふ緊急の課題がある。「ここまでは……」という心境である。

金沢城調査研究所から

2010年夏：河北門の隠し石垣

この春、新たに金沢城三の丸に河北門が復元されました。河北門の升形の内部を歩くと、真新しい鉛瓦と白壁がまぶしく、二の丸の菱櫓を仰ぎみることもできます。ところが、背の低い白壁の土塀の中身は、実は石垣なのです。石垣の前面に白壁を塗った風変わりな土塀なのです。普通の土塀の何倍もの厚みがある不思議な塀です。なぜ、こんな土塀にしたのか、それは謎です。

石川県金沢城調査研究所副所長 木越隆三



教育資料収集整理事業

当財団では、平成16年度から教育資料の収集整理事業を行っています。収集された資料は、行政・学校・教育関係団体からの寄贈資料と個人からの寄贈資料に分けて、当館地下の資料展示室・教育物具室・調査室書棚に整理保管しています。

また、当館1階ロビーでは、年間をとおして小展示会を開催しています。今年度の前期は、4月の当会館所蔵「教育物具展」、5月の県立学校から集められた学校新聞・生徒会誌等の展示、また、「特色ある学校の活動」としては、6月の県立羽咋工業高校、7月の県立寺井高校、8月の県立鶴来高校・小松明峰高校の展示を各学校のご協力を得て行うことができました。県内の様々な県立学校の様子を金沢の中心で見ることができるロビー展にぜひお越しください。



当会館所蔵
「教育物具展」



県立鶴来高校



県立羽咋工業高校



県立寺井高校



県立小松明峰高校

第28回教育資料ロビー展

「いしかわ教育ウィーク」関連行事のお知らせ

文教会館所蔵教科書展Ⅱ

～明治から昭和までの教育活動を俯瞰する～

日時：11月1日(月)～7日(日)

会場：石川県文教会館1階ロビー

地下1階教育資料展示室・物具室



2009年度
文教会館所蔵
教科書展より



現在、当財団が所有する教育資料は、約25,000点です。その中でも重点的に扱っている教科書資料は、学校や県内在住の教育関係者等から寄贈を受けたもので、汚れや欠損が見られるものが少なくありません。しかし、それらは、当時大切に使用していた子どもたちの息づかいが残る貴重な教育財産です。

教科書は、近代教育の軌跡とも言われていますが、前回のロビー展では、小学校国語の教科書を中心に展示しました。今回は、修身・算数・音楽等の教科書や教師用指導書等を展示し、これらをとおして、それぞれの時代に熱心に行われていた教育活動を振り返り、今日の教育について改めて考える機会になればと考えています。

いしかわ教育ウィーク期間中「教育史セミナー」開催

日時 11月5日(金) 14:30～16:00

会場 文教会館401会議室

講演 演題「石川県における児童文化運動の百年史」

講師 道端 孫左エ門 氏

(石川県児童文化協会参与)

資料室閲覧希望の方

- ① 1階受付にお申し出ください。
- ② 資料室内でご覧ください。
- ③ 原則として、貸し出しはしていません。

第22回文教アートウェイブ フルートクリニック開催

文教会館では、地域の人々に芸術文化活動の発表の場を提供し、地域文化の振興を図ることを目的に「文教アートウェイブ」事業を行っています。



6月6日(日)に開催された「2フルート&ピアノ・トリオコンサート」では、開演の前にプレ・イベントとして3名の出演者（フルート：齊藤舞歌、川中志保 ピアノ伴奏：清水史津）による「フルートクリニック」が行われました。

クリニックには、金沢市立城南中学校と金沢市立鳴和中学校の吹奏楽部から4名の生徒たちが参加しました。予定されていた30分という時間を超過しての熱心な指導に、ホールは大きな教室となって一体感と緊張感に包まれていました。

生徒からは、「お客さんの前で演奏して緊張したけれど、大変良い機会を与えてもらって嬉しかった。」「フルートを持つ角度で音が変わることは、これまで知らなかった。教えていただいて、大変良かった。きれいな音や音量について、今後の目標ができた。」等の感想がありました。

文教ニュース

“赤ちゃんといっしょのコンサート”

生の演奏に赤ちゃんもうれしそう



文教会館の4階に約90畳の和室があります。これまで、カルタ大会の会場、将棋や囲碁の大会、懇親会の会場などにご利用いただいていましたが、今回、初めてコンサート会場として使っていただきました。

演奏は、ピアノ（キーボード使用）は生垣淑子さん、フルートは藤井宏実さんです。会場は、赤ちゃん連れの家族など、100名を超える皆さんの熱気であふれていました。また、会場では、授乳やおむつ交換をしながら楽しむ姿も見られ、コンサートホールとはひと味違う音楽会になりました。

第2弾の予定 10月3日(日) 午後2時～



開催日などの情報は、当館ホームページをごらんください

育児のストレスから解放されて、ママはいつもよりやさしくなれるかな？



アートシアターいしかわ（ラブロ7F）紹介コーナー



「2010春の北陸二紀展」
(6/17～6/22)

あなたの想像空間 アートシアターいしかわ

ホール・ギャラリー・サロン・会議室を備えた文教会館の姉妹館です。ホールは、ミニ・コンサートや講演会、展示会その他パーティー会場としてもご使用になれます。また、ギャラリーは、絵画・彫刻・工芸・書・写真・生け花などの展示会場（展示即売可）等にお使いいただけます。

詳しくは、文教会館ホームページをごらんください。

第23回いしかわ県民陶芸展

アマチュア陶芸作品募集のご案内

県内のアマチュア陶芸愛好家の皆様、恒例の県民陶芸展が来春早々開催されます。初心者の方も大歓迎です。今年こそ出品されてはいかがでしょう。昨年度も小さなお子さんからご高齢の皆様まで、多くのご応募がありました。写真は、審査員の先生による作品解説の様子です。ご自身の創作の参考にと、作家の皆さん方は、大変熱心に参加してくださいました。また、展示会では、陶芸活動を愛する方々との出会いもあります。ぜひ、来年のお正月も「いしかわ県民陶芸展」をお楽しみいただきたいと思います。

＜作品応募について＞

出品料	一般 1,500円 青少年 無料
受付日時	平成23年1月8日(土)・9日(日) 10:00～17:00
搬入場所	アートシアターいしかわ (ラプロ片町7F)
会期	平成23年1月15日(土)～23日(日) 10:00～18:00 (最終日は15:00まで)
会場	アートシアターいしかわホール 金沢市片町2-2-5 (ラプロ片町7階) TEL (076) 220-1888



飯田審査員による作品解説の様子

2010年度文教アートウェイブ

芸術文化の振興を目的に、教職員や地域で活動する芸術団体に文教会館ホールを舞台発表の場として無償で提供しています。大きな舞台で発表して夢をかなえてみようという方、どうぞ文教会館事業課までお問い合わせください。

＜2010年度 今後の公演予定＞

23回	劇団北陸新協 第108回公演「流星に捧げる」	12月3日(金) 開演 19:00 4日(土) 開演 14:00 と 19:00
	入場料: 一般2,000円 (当日2,300円) その他1,500円 (当日1,800円)	
24回	金沢桜丘高校吹奏楽部 クリスマスコンサート	12月26日(日) 開演 13:30
	入場料: 無料	
25回	フローリン・クロイトール & 生垣淑子デュオリサイタル	平成23年3月20日(日) 開演 19:00
	入場料: 一般3,500円 (当日4,000円) その他2,500円 (当日3,000円)	

只今、2011年度公演の応募受付中

応募期限 2010年9月30日まで

2010子ども芸術文化セミナー

日時	9月12日(日) 13:30～
対象	児童生徒と保護者、学生、一般 入場料: 無料
内容	児童劇「まぬけな山賊たち」 出演 いしかわ子ども交流センター演劇クラブ 演奏会 出演 金沢辰巳丘高校芸術コース 音楽専攻の生徒のみなさん

今回は、アートシアターのホールで、小学生と高校生の出会いがあります。どんなセミナーになるでしょう。皆さんも参加してくださいね。

会場 アートシアターいしかわホール (ラプロ片町7階)

詳しい内容は、文教会館事業課までお問い合わせください。
<http://www.bunkyo.or.jp/>

いしかわ子ども交流センター演劇クラブによる児童劇「わがままなお姫様」



金沢市立野町小学校のみなさんによる詩の暗唱



2009子ども芸術文化セミナーより